

BIG BEN

- p1 日本クラブの周辺案内
- p2 写真探訪：セント・パンクラス駅
- p3 領事だより：憲法改正国民投票とは
- p4-5 短信：日本人社会の動き
- p6 日本クラブ発信の情報
- p6 年次ゴルフ大会結果
- p7 エッセー：Order! Order!
- p8 川村総領事フランスへ転勤

日本クラブ周辺案内 (1)

アトラクションがいっぱい

日本クラブは川向こうのどこか遠い寂しいところへ移転してしまった、と思っている会員の方も多いと聞く。そこで「びっぐべん」編集部では日本クラブの周辺を探索し、クラブが便利な場所にあること、また、周辺にはギャラリーや劇場、博物館、歴史的な教会等がたくさんあり、ここはイギリス人が良く使う「アップ・カミング・エリア」という表現がぴったりの地区であることが確認できた。

◆セントポール寺院の向かい側

ロンドンの地図を広げて日本クラブのあるサザック地区を見てみると、ちょうどテムズ川を挟んでセントポール寺院の反対側にあることが分かる。寺院の前には2000年に建設されたスマートな歩行者専用のミレニアム・ブリッジが架かっている。その橋の反対側はテートモダン・ギャラリーで、日本クラブはそのギャラリーから数分の位置にある。天気の良い一日、セントポール寺院からミレニアム・ブリッジを渡り、日本クラブまで歩いてみるのも悪くない。テムズ川から眺めるテムズ南岸はまた格別の趣がある。

日本クラブに一番近い地下鉄の駅はジュビリーラインのサザックである。駅からクラブまでは約5分で行ける。また、ロンドン・ブリッジ駅(ノーザン、ジュビリー、近郊電車)からは約10分の距離である。どちらの駅からも道路沿いにはショップをはじめ、レストランやカフェ、パブがたくさんあり、日本クラブが賑やかなエリアの中にあることが分かる。

◆数多い周辺のアトラクション

日本クラブの周辺には文化施設が多い。特にテムズ川沿いのテートモダンからロンドン・ブリッジにかけてはテムズ川のプロムナードとして訪れる人も多く、一日中観光客



テムズ川対岸から見たグローブ座

で混雑している。主なアトラクションは以下の通り(場所は次ページの地図の番号を参照)：

- ①**Tate Modern Gallery**：1940年代に造られた火力発電所を改造した巨大なモダンアート・ギャラリー。特別展以外は入場無料。www.tate.org.uk/tate-modern
- ②**Shakespeare's Globe & Exhibition**：1599年に建設されたシェークスピア劇専門のグローブ座を1997年に再建したもので、現在でもシェークスピア劇を専門に上演している。展示会場も併設されており劇を見なくても劇場、展示会場の見学ツアーが30分毎にある。(£13.50) www.shakespearesglobe.com
- ③**Vinopolis**：ワインの殿堂として16年前にオープン、入口でトークンを購入して各種のワインがテースティングできるようになっている。(£27 for 7tokens, £32 for 12tokens, £38 for 16tokens) (今年いっぱい閉館される)
- ④**Clink Prison Museum**：イングランドで一番古く残酷な監獄があった場所にある監獄博物館。館内は中世そのままの造りになっており、監獄体験が出来る。入場料£7.50 www.clink.co.uk

(2面へ続く)

⑤**Winchester Palace**:12世紀のウインチェスター大司教のロンドン滞在用宮殿の遺跡。

www.english/heritage.org.uk

⑥**Golden Hinde II**:16世紀に世界一周したフランシス・ドレークの帆船のレプリカ。内部を見学できるほか、船内で各種歴史的イベント開催。入場料£6

www.goldenhinde.com

⑦**Southwark Cathedral** : 歴史を遡ると7世紀にはここにすでに尼僧院があったとされる大聖堂で現在の建物は12世紀のもの。内部(シェークスピア像等)を見学できる。

www.cathedral.southwark.anglican.org

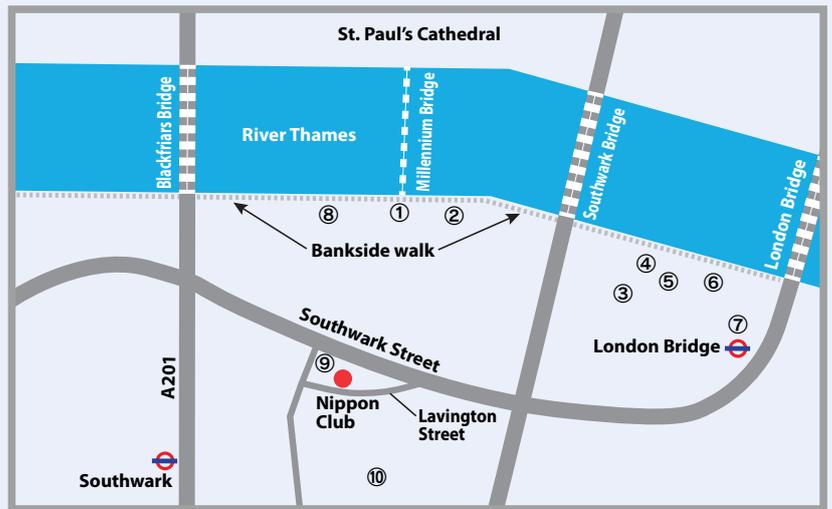
⑧**Bankside Gallery**:テムズ川沿いの商業・ギャラリー。主に水彩とプリントを扱っている。www.banksidegallery.com

⑨**Contemporary Applied Art** : 英国の一流現代工芸作家の作品を展示即売。個人作家の

展覧会も開催。www.caa.org.uk

⑩**Jerwood Space Art Gallery** : ギャラリーとダンスや演劇のリハーサルルームがあるジャーウッド基金の運営するアートスペース。展覧会は入場無料。

www.jerwoodspace.co.uk



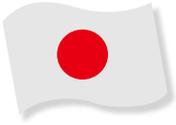
写真探訪 Around London

【セント・パンクラス駅 (St Pancras Station)】



ご存知ユーロスターの発着駅だが、このゴシック建築の壮大な建物は駅というより、高い尖塔を持つ教会のようでもある。この駅舎が建設されたのは明治維新の年の1868年、ビクトリア時代の英国の鉄道黄金時代を象徴している。第2次大戦後は輸送手段が空路や道路に変わり、鉄道は衰退し、一時は取り壊しの対象にもなったが、2007年のユーロスターの発着駅として復活、駅舎の内部やホテル施設が大改築された。建物の外観や世界一と言われるホームの大屋根(高さ30メートル、幅80メートル)はそのまま残されたが、駅の構内には洒落た店やカフェ、バー、レストランが並び、鉄道に乗らなくても楽しめるようになっており、日本の大きな鉄道ターミナルへ迷い込んだような印象を受ける。

(撮影：加藤節雄)



「憲法改正国民投票」って何？

6月19日、選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が公布されました。施行は1年後の2016年6月19日からで、来年夏に予定されている参議院議員選挙では「18歳以上」の国民による投票が実現する見通しです。これによって、新たに18歳、19歳の約240万人が有権者に加わります。参院選で適用されれば、それ以降に行われる地方選挙も18歳から投票できるようになります。

実は、選挙権ではありませんが、18歳以上の国民が投票できる法律が既に公布・施行されています。それは「日本国憲法の改正手続きに関する法律（憲法改正国民投票法）」です。この法律は平成19年に公布、平成22年5月から施行されていますが、平成26年6月に改正が行われ、18歳以上の方が投票できるようになりました。実際に18歳、19歳の方が投票できるのは、施行後4年を経過した日（平成30年6月21日）以後の国民投票においてとされています。

さて、「憲法改正国民投票」とは何かご存じでしょうか？

日本国憲法第96条では、憲法の改正は、国会で衆参各議院の総議員の3分の2以上の賛成を経た後、国民投票によって過半数の賛成を必要とすると定められています。つまり、「憲法改正国民投票」とは、私たち国民が、憲法改正に関して最終的な意思を決定するためのものであり、そのための具体的手続きが定められた法律が「憲法改正国民投票法」なのです。

国民投票の流れは、まず国会議員により憲法改正案の原案が提案され、衆参各議院において、それぞれ憲法審査会で審査されたのち、本会議に付されます。衆参両院の本会議にて3分の2以上の賛成で可決した場合、国会が憲法改正の発議を行い、これをもって、国民に憲法改正の提案がされたこととなります。憲法改正の発議後60日から180日以内に国会にて国民投票の期日が決定され、国民投票が行われる、という段取りです。そして、憲法改正案に対する賛成の投票数が総投票数の2分の1を超え

た場合に、国民に承認された、ということになり、憲法が改正されるわけです。憲法を改正するところが複数ある場合、改正案は、内容において関連する事項ごとに提案され、それぞれの改正案ごとに一人一票を投じます。例えば、公務員に関する規定と教育に関する規定について改正案が提案されたら、公務員については賛成ですが、教育には反対するということができるわけです。まとめて一括でこの憲法を承認して、ということにはなりません。

さて、この憲法改正国民投票ですが、もちろん、海外にお住まいの方も投票できます。衆参両議院議員選挙と同様、「在外公館投票」、「郵便投票」、「国内における投票」が可能です。そのためには、在外選挙人名簿への登録が必要です。

最近の国政選挙の投票率は非常に低くなっていますが、憲法改正の提案があったら、国民として一票を投じたいと思います。投票するためにも、在外選挙人名簿への登録を是非ともよろしく願います。

●詳しくは以下のHPをご覧ください。

憲法改正国民投票法

http://www.soumu.go.jp/senkyo/kokumin_touhyou/index.html

在外選挙人名簿登録

<http://www.uk.emb-japan.go.jp/jp/ryoji/senkyo.html>



短 信

COMMUNITY PLAZA



陶芸教室始まる

日本クラブを会場にした初心者向け陶芸教室が始まった。陶芸家でクラブ会員である川村今日子（いまひこ）さんが主宰するこの陶芸教室は毎月1回のペースで行われている。少人数制で川村さんの丁寧な指導により初心者でも最初から徳利や片口等を作ることが出来る。日本クラブにはロクロの設備がないため、制作はすべて手ロクロやひもづくりになる。また、焼成は川村さんが生徒の作品を自分のスタジオに持ち帰り、翌月焼成したものを持ってきてくれる。教室では男女生徒が和気あいあいと作陶に励んでいた。(写真①) 問い合わせは次へ。

imahikoceramics@gmail.com

TEL:07884-491177 (川村今日子)



第7回ロンドン沖縄デー

今年第7回目になる「沖縄デー」(沖縄県人会・ロンドン沖縄三線会主催)が6月20日(土)ロンドンのスピタルフィールズで開催された。恒例の沖縄民謡演奏を始め、沖縄空手のデモ、沖縄食品や泡盛の屋台も出た。エイサでは観客が飛び入りで加わり、大賑わいとなった。(写真②)



ゴマソール氏に旭日大綬章

平成27年春の叙勲で元駐日英国大使(1999年～2004年)のステイブン・ゴマソール氏(67歳)が旭日大綬章を授与された。ゴマソール氏は帰国後日立ヨーロッパ社取締役会長や(株)日立製作所取締役等を務めた。伝達式は6月5日(金)日本大使館で開催された。

(写真③日本大使館提供)



佐野圭作氏に旭日双光章

同じく春の叙勲で英国日本人会会長の佐野圭作氏(72歳)が旭日双光章を受章した。英国日本人会を通して在英邦人への福祉に功労したことやジャパン祭り実行の功績が認められたもの。伝達式は6月12日(金)日本大使館で開催された。(写真④日本大使館提供)



英国最大の陶芸の祭典

今年第21回を迎える英国最大の陶芸祭「アート・イン・クレイ」が今年もハートフォードシャーの貴族の館ハットフィールド・ハウスで7月3日～5日の3日間開催される。イギリスを始めヨーロッパの陶芸家200人が参加、マーキーでの展示即売のほか、レ

会員セミナー「パリ小旅行」大盛況!

5月7日(木)、「とっておき『パリ小旅行』ガイド」と題して、会員サービス委員会主催のセミナーが開催された。ゲスト5名を含む49名が参加して、日本クラブ会議室は満席の賑わいとなった。同委員会の清水克己委員長(JTBヨーロッパ社長)が講師となり、パリの穴場レストランや

観光スポット、蚤の市でのショッピング情報など、通算10年のパリ駐在経験を活かした、とっておきの情報が紹介された。

また、同じく講師として参加した清水委員長の奥様よりマルシェやスーパーで手に入る土産品のサンプルが参加者に提供され、試食した参加者

から大好評を博した。セミナーではパリ発の小旅行だけでなく、マイバスUKの吉本氏よりロンドン発のイギリス国内旅行についても紹介された。



短 信

COMMUNITY PLAZA



⑤

クチャーやデモンストレーションがある。今年は日本からも石垣焼の金子晴彦さんと備前焼の石田和也さんが特別参加する。ハットフィールド・ハウスはM 25 高速道路の北7マイル、電車ではキングス・クロス駅から40分で行かれる。(写真⑥金子晴彦作品)

● Art in Clay Hatfield

Hatfield House

Hertfordshire AL9 5NQ

7月3日(金)～5日(日)

10:00am – 5:30pm (金・土)



10:00am – 5:00pm (日)

入場料: 大人 £9.50 (15歳以下無料)

www.artinclay.co.uk

ハイパー・ジャパン7月10日-12日

日本カルチャーの祭典「ハイパー・ジャパン・フェスティバル2015」が7月10日(金)～12日(土)グリニッチにあるドーム The O2 催物会場で開催される。アニメや漫画といった日本の現代ポップカルチャーだけでなく、武道や茶道といった伝統文化や今ブーム



⑦

の日本食まであらゆる日本文化を紹介する大イベントとなる。(写真⑥)

● Hyper Japan Festival

7月10日(金)～12日(日)

The O2 London

入場料: £13～£16 (早割有り)

www.hyperjapan.co.uk

ジャパン祭り9月19日(土)

今年のジャパン祭り(日本クラブ等主催)は9月19日(土)トラファルガー広場で開催される。(写真⑦は昨年の祭)

ワイナリー見学ツアーを満喫!

日本クラブ日英交流促進委員会企画の「ワイナリー見学ツアー」が好天に恵まれた6月21日(日)に行われた。今回は応募者が多かったため、7月5日(日)にもう一度行われることになっている。

当日は午前9時30分にピカデリー・サーカス付近に集合、貸切コーチで一路サリーのドーキングにあるデンビーズ・ワイン・エステート(Denbies Wine Estate)へ向かう。デンビーズは265エーカーのぶどう畑を持つ英国最大のワイナリーで、1986年以来、白、赤、ロゼワインの他、シャンパンと同じ製法でスパークリング・ワインを製造している。特に

この地方はフランスのシャンパン地方と同じチョーク質の土壤なのでスパークリング・ワインに適しているという説明があった。

工場内見学では3種類のスパーク

リング・ワインを試飲、昼食後にはミニトレインでブドウ畑を1周するツアーがあり、途中景色の良いところでもう一度ワインを試飲するという参加者一同が大変楽しく過ごした一日となった。



日本クラブは情報の発信源です メール登録で情報を獲得！

日本クラブはクラブの活動紹介だけでなく、クラブが企画したセミナーやイベントの案内、知っておくと便利な情報まで、会員の皆様の英国生活に役立つ情報を種々提供しています。

●会報「びっぐべん」

広報委員会が毎奇数月に発行する日本クラブの会報です。現在は8ページ建てで、クラブの活動報告をはじめ、会員の皆様に関係ありそうな記事の特集や領事だより、また、短信欄として日本人社会の動きや日本関係の催物案内を紹介したり、軽いタッチで英国生活の知恵を披露するエッセーも掲載しています。

●お知らせメール

各種イベントや会員のためのセミナー等の案内を始め、コンサートへの特別ご招待や会員主催の各種催し物案内等を配信しています。

●診療所だより

毎偶数月に日本クラブ診療所の医師が交代で、会員の役に立つ医療情報や日英の治療の違いやアレルギー対策等を執筆しています。

●同好会通信

毎偶数月に日本クラブの4つの同好会（ブリッジ、ゴルフ、囲碁会、グリーンコーラス）の活動報告をしています。

●会員特典サービ協賛店リスト

日本クラブ会員証を提示するだけで各種サービスが受けられます。特典サービス協賛店のリストは隔月毎に更新されています。

* * *

これらの情報はメールで配信されます。情報を取得するためには、メール登録が必須です。登録は会員及びその家族であれば誰でも可能です。家族各人がそれぞれに登録することも可能です。登録は日本クラブホームページから簡単に出来ます。ご家族、または知り合いの中で未登録の人がいましたら、是非登録する様にお勧めください。登録は無料です

www.nipponclub.co.uk

日本クラブ第53回年次ゴルフ大会

森林正彰さんが優勝

第53回日本クラブ年次ゴルフ大会が6月6日（土）メイドンヘッドGCで開催された。スタート時には気温が低くすっきりした天気だったが、昼ごろにかけて雲が出てきて風が強くなり、ややスコア作りが難しくなった。今年の参加者は男性58名、女性6名の計64名。熱戦の末、優勝したのは森林正彰さん（NTT）で、五百頭旗義高大会委員長（写真右）より優勝カップが授与された。表彰式では日本大使館の加藤元彦特命全権公使よりご挨拶をいただいた。また、今年の大会では優勝した森林氏の奥様の俊美さんが女性のベストグロスだけでなく、4番の女性DCと6番NPも受賞するという夫婦揃って大活躍をした。

●優勝した森林正彰さんの話：

「調子はまあまあでしたが、トリプルボギーもたたいてるのでダメかと思ったが運よく優勝できて喜んでいま

す。ゴルフ歴は30年ぐらいですが、今回の様な大きな大会で優勝するのは初めてです。」

●優勝：森林正彰／2位：宮川正行／3位：外山健二
●第53回大会賞：在原淳一
●ベストグロス賞：男性；塚田忠大(75) 女性；森林俊美(86)

●年次ゴルフ大会の賞品寄贈協賛リストは7面に





Order! Order!

イギリスの議会が紛糾してくると、議長が“Order! Order!”と静粛を求めます。「オーダー」には、秩序、注文、順序など様々な意味がありますが、日英の文化の違いで生じる戸惑いも、順序、順番に起因しているものが多々あり、イギリスに来ると、まるで不思議の国のアリスになったような気分になります。

まずは、自己紹介の姓名の順に始まり、住所も、日本では都道府県、市、町と大きなカテゴリーから書きますが、英語では番地、通り、町と小さいカテゴリーから書いていき、まったく逆のアプローチです。

日本人が英語を話す時に苦労するのは、主語のすぐ後に動詞が来る英語の構造のせいでもあります。日本語では最後に動詞が来るので、いろいろと言って時間稼ぎをし、相手の反応も見ながら、締め動詞の形を決めることができます。ところが英語では、話し始める時にはすでに覚悟を決めて、主語動詞を言わないと、スムーズに聞こえないのです。

日本で当然と思い、無意識にやっていることほど、順序が違うと勝手が違い、トラブルになることが多くなります。例えば、誰かの家を訪問した時に、イギリスではドアが外から内を開きます。基本的にドアはノックして、中にいる人の承認を得て、その人が迎え入れます。外から急に入ると、そばにいた人にぶつかる可能性があります。一方、狭い土地に家を建てている日本では、玄関スペースを確保するためか、ドアは内から外を開きます。ドアを引くのか、押すのか、それが問題なのです。

ぶつかるといえば、駅の改札です。日本では切符を入れて、改札を通り、その向こう側で切符を取り、流れがスムーズです。しかしイギリスでは、切符を入れてこちら側で取ると、改札が開き、取り忘れを予防する仕組みです。切符を入れてそのまま直進すると、思い切りゲートにぶつかることになります。

買い物をしても、イギリスではお釣りが足し算で戻ってくるので小銭から渡されます。気を付けないと、肝心のお札で間違いをされそうです。日本では引き算し、大きい単位のお札から渡してくれるので安心なのですが。

日本食が浸透してきたとはいえ、イギリス人も日本食レストランで自分たちの思い込み順序に固執する人がたまにいます。昼食時にセットメニューで一度にご飯、みそ汁、おかずがでると、順番にもってこないのかとか、懐石では最後にご飯と汁物がですが、スープのように汁物だけ先に持ってこないのはおかしいとか...

解決策はやはり郷に入っては郷に従えでしょうか。というより、オリジナルの文化を尊重する姿勢ではないでしょうか。



イギリスでは改札通過前に切符を取る

第53回日本クラブ年次ゴルフ大会賞品寄贈協賛リスト (受付順)

Albion Cosmetics、Casio、JTB、JX日鉱・日石エネルギー、KDDI、NEC、NTT、アサヒビール、
いけだレストラン、鹿島建設、くるくる寿司、サントリーホールディングス、住友商事、センターピープル、
双日、日本郵船、三菱UFJ信託銀行、三菱地所、ヨーロッパ・ゴルフ、リロ・トランスユーロ、
英国日本通運、欧州三井住友銀行、欧州三菱商事会社、丸紅欧州会社、三井物産、三菱東京UFJ銀行、
商船三井、泉運輸、全日本空輸、大和証券キャピタル・マーケットツ、但馬亭、東京海上日動火災保険、
東芝ヨーロッパ社、日本航空、富士インダストリーズ

日本クラブ理事の交代

- ◆副会長・日本人学校運営(副): 柏樹康生氏より篠原実氏へ(ともに野村證券)

新規加入の法人会員

- ◆トウーリッチ・インベストメント
Toorich Investment (London)

川村博司総領事が転任

2013年以來在英國日本國大使館總領事として日本クラブ理事も務めた川村博司公使兼總領事が在フランス日本國大使館へ転任された。後任は宇山秀樹氏(公使兼總領事)

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会: 開催中
- ◆会場: Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ: ☎ 07810-545023 (西川)
charles.nishikawa@btinternet.com
随時入会受付中(申し込みはHPから)

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例会: 毎週火曜日(11:00~15:00)
- ◆会場: 日本クラブサロン
- ◆問い合わせ: reikoe@btinternet.com (榎枝)
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコース

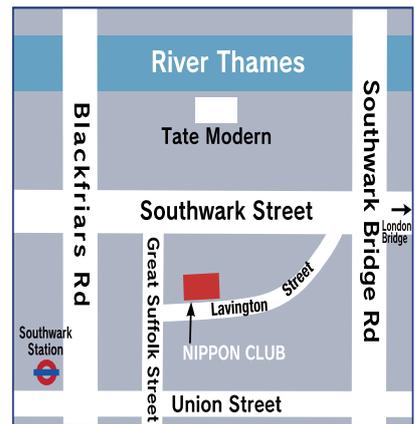
- ◆練習日: 毎週月曜日(10:15~12:30)
- ◆会場: Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ: sachiko@teranaka.net (寺中)

日本クラブ囲碁会

- ◆例会: 毎週土曜日(12:00~23:00)
- ◆会場: Melton Mowbray Pub
地下鉄 Chancery Lane 2分
- ◆問い合わせ: ☎ 07956-594040 (田中)
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用を!

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大寺院のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々のショップやレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な距離にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



- *建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。(会員証の提示を求められることもあります)
- *閉館時間以外はシャッターが降りていて入場出来ません。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street
Southwark, London SE1 0NZ

TEL: 020-7921-9490, Email: jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜~金曜: 午前10~午後9時(事務局は午後6時まで)

土曜: 午前10時~午後4時(事務局は休日)

日曜・祭日は休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英語検定や漢字検定の実施
- 放課後の楽しい部活動(5年生以上)
- 整った学習環境
- 英会話や英語活動
- 現地校との交流
- 通学バス利用可



ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語(日本語)の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中・学部・高等部(学習指導要領に準じたカリキュラム)
- 日本語科(日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置)
- 授業回数年間約40回

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145



旅行保険で
キャッシュレス

●日本クラブ 東京慈恵会医科大学からの派遣医師が常勤。在英日本企業300社以上がサポート。

NIPPON CLUB メディカルクリニック

当診療所は、ロンドンでも最新設備を誇るプライベート病院のHospital of St. John and St. Elizabeth(北診療所)とParkside Hospital(南診療所)内にあり、緊密な提携関係のもと同病院施設の利用・入院手続き等ができる上、必要があれば同病院をはじめ英国の専門医をご紹介します。

- 東京慈恵会医科大学海外派遣機関
- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断随時実施
- 婦人科検診随時実施



内科
小児科
一般診療

www.nipponclub.co.uk/clinic

北診療所 020-7266-1121

南診療所 020-8971-8008